

高齢者施設における感染対策 ～新型コロナウイルス感染症について～

本日の内容

1 感染対策について～新型コロナウイルス感染症～

概要版 介護職員のための感染対策マニュアルから

2 保健所へ問い合わせの多い質問について

保健所への報告について、感染対策を要する期間についてなど

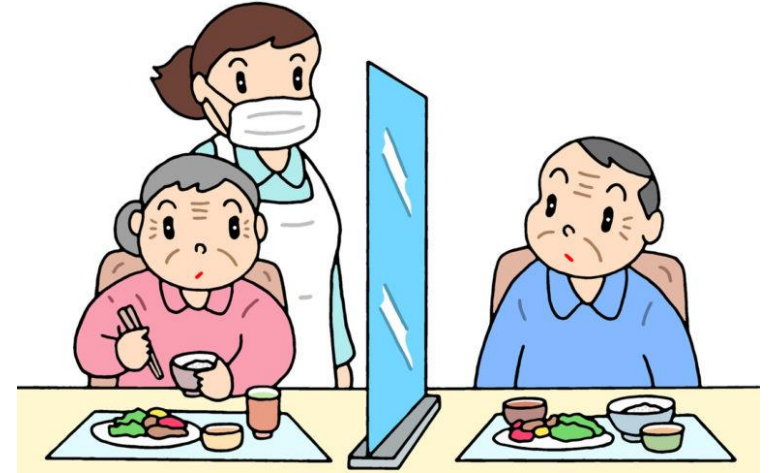
3 研修会の案内

令和5年度高齢者施設感染対策向上研修会の開催について



高齢者施設における感染対策の難しさ

- 1 高齢者は感染がおこりやすい状態である。
- 2 高齢者は感染した時重症になる可能性が高い。
- 3 施設は様々なサービスを提供してる。
- 4 施設は感染が拡がりやすい環境である。
- 5 感染対策を強化することとADLの低下を防ぐことの両立は難しい。



保健所への報告について

【報告が必要な場合 1】

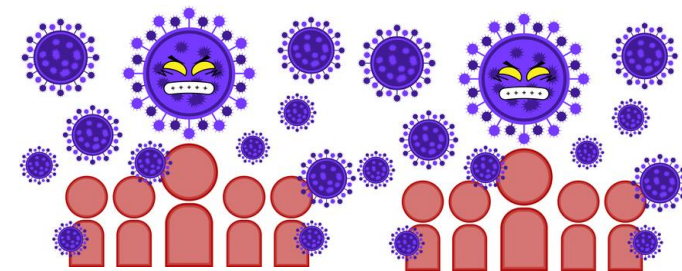
ア 平成17年2月22日付け厚生労働省通知「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」の報告基準に準じる。

4.社会福祉施設等の施設長は、次のア、イ又はウの場合は、市町村等の社会福祉施設等主幹部局に迅速に、感染症又は食中毒が疑われる者などの人数、症状、対応状況などを報告するとともに、併せて保健所に報告し、指示を求めるなどの措置を講ずること。

ア 死亡者又は重篤患者が1週間内に2名以上発生

イ 10名以上又は全利用者の半数以上発生した場合

ウ ア及びイに該当しない場合で、通常の発生動向を上回る感染症等の発生が疑われ、特に施設長が報告を必要と認めた場合



保健所への報告について

【報告が必要な場合2】

患者発生に伴い、保健所へ**相談したい**。

(例) 感染対策に係る助言

コロナ患者の行動の制限をどうしたら良いか？

「検査用のキットが不足している」どうしたら良いか？など

【報告・相談の方法について】

- 北海道の電子申請システムを使用し**報告・相談**を行う。
- * システムが使用出来ない場合は、FAX等の活用も可能
- * 緊急を要する場合は、電話などによる報告も可能



コロナ患者の感染対策期間について

○ウイルス（オミクロン株）の特性に応じて対策を行う。

【**潜伏期間**】：コロナに感染してから体に症状がでるまでの期間

2～7日（中央値2～3日）

【**感染経路**】：コロナが体の中に入る道筋



①患者から1～2m以内の距離で、ウイルスを含んだ飛沫（飛び散るしぶき）やエアロゾル（空気中に飛んでいる固体や液体）を吸い込む。

②換気が悪い屋内では、患者から遠い場所でも感染する。

③ウイルスを含む飛沫や環境表面に触れた手指で粘膜を触ることで感染する。

【**感染性のある期間**】：人にうつす可能性のある期間

症状が出る2日前から症状が出てから5日～10日

令和5年度高齢者施設感染対策向上研修会の開催について

目的 高齢者施設等での新型コロナウイルス感染症の感染予防・感染拡大防止等の感染対策力の向上を推進する。

目標 (1) 施設管理者等が施設内の感染管理体制の整備について理解できる。

(2) 職員が標準予防策と感染症発生時の備えを理解できる。

日時 ①令和5年10月25日(水)

「感染対策に係る施設管理者並びにリーダーの役割について」(予定)

②令和5年11月29日(水)

「平常時に必要な感染対策について」(予定)

③令和5年12月20日(水)

「高齢者施設における感染対策のポイントについて」(予定)

時間は14時～15時

方法 ZOOM開催



研修会申込について

1 出席申込

簡易申請システムによる申込をお願いします。

URL : <https://www.harp.lg.jp/SksJuminWeb/EntryForm?id=WBAL3msc>

2 資料について

北海道帯広保健所のホームページに掲載予定です。

出席者は各自資料を印刷し参加してください。

3 その他

各回毎にアンケートの記載をお願いします。ご協力願います。

研修会案内時の通知文に簡易申請のURLを掲載しています。



皆様のアンケート等を参考に研修会を
開催します。

たくさんの方のご参加をお願いします。

よろしく申し上げます

